

# 困った時の相談窓口

【篠山市内】

相談の内容	相談窓口	電話	時間	その他
人権相談 女性のための悩み相談	人権推進課 (第2庁舎 1階)	552-6926	9:00~ 17:00	
総合生活相談	畑ふれあい館	552-4401	8:45 ~ 17:15	身近な相談窓口として、 人権や生活上のさまざまな 相談をお聞きします。 必要に応じて関係機関へ つなぎます。  月~金曜日 (祝日・年末年始を除く)
	日置ふれあい館	556-2850		
	西紀ふれあい館	593-0093		
	味間ふれあい館	594-1003		
	古市ふれあい館	594-1001		
ふくし総合相談窓口	地域福祉課	554-2511	8:30 ~ 17:15	どこに相談すれば良いのかわ からない等、どんなささいなこ とでも結構です

【兵庫県男女共同参画センター】

種 類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月~土曜日	9:30~12:00 13:00~16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月~金曜日 土曜日	11:00~18:40 9:20~16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談 (男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日 17:00~19:00	
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (要予約)	078-360-8554	毎月第1~4木曜日 10:00~13:00	
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月~土曜日 9:00~17:00	
不妊・不育専門相談 (助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日 10:00~16:00	
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日 14:00~17:00	
思いがけない妊娠(SOS) (助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日 10:00~16:00	
	メール相談 <a href="http://ninshinsos-sodan.com">http://ninshinsos-sodan.com</a>		随時受け付け 返信は原則として1週間以内	

【その他(DV等)】

相談先	電話番号	実施日時等
兵庫県立女性家庭センター (兵庫県配偶者暴力相談支援センター)	078-732-7700	毎日9:00~21:00 緊急時は24時間対応しています
兵庫県警察本部 ストーカー・DV相談	078-371-7830	毎日 24時間
神戸地方方法務局女性の人権ホットライン	0570-070-810	月~金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:00~16:00

【問い合わせ先】

篠山市市民生活部人権推進課  
電話番号：079-552-6926 FAX：079-554-2332  
Eメール：jinken\_div@city.sasayama.hyogo.jp

篠山市男女共同参画センター情報紙

# フィフティだより

～一人ひとりが輝く社会をめざして～

第39号 平成29年10月

Sasayama City  
Gender Equality Center



【発行】  
〒669-2397 兵庫県篠山市北新町41  
篠山市役所第2庁舎1階  
篠山市市民生活部人権推進課  
電話：079-552-6926  
FAX：079-554-2332

## あれから22年、阪神・淡路大震災が教えたもの ～男女共同参画の視点から～



7月7日(金)午後7時30分より全国隣保館連絡協議会常任顧問の中尾由喜雄さんを講師に迎え見出しのテーマでお話いただきました。

当時勤務されていた芦屋市の隣保館は震災直後から避難所になり、同和地区内外の約400人が避難生活を共にされたということです。その時色んな力を発揮し、運営の協力をしてくれたのは地区のおばちゃんたちでした。自分たちは後でいいからと他の人にま

ずおにぎりを配ったり、救援物資が全ての人に行き渡る様に配慮したり、具合の悪い人を職員に伝えたり、トイレ掃除などできることは何でもしてくれました。聴覚障害者も避難されていたので館内放送があれば身振り手振りで伝えてくれました。



女性も男性も、障がいがあってもなくても、一人ひとりにできることがあります。それぞれが区別することなく協力し合うことで、誰もが安心して暮らしていけるのではないのでしょうか。



阪神・淡路大震災 あれからすでに22年が過ぎました。

震災は忘れることのできない悲しい出来事です。

でも、直後から近隣住民が助け合い励まし合った姿は

人と人が支え合いながら生きていく大切さを教えてくれました。

来たるべき超高齢化社会を、女性も男性も共に協力し合い、心豊かに幸せに生き抜いていくための知恵や工夫が求められています。そのヒントをいただいたように思います。

最後に中尾さんは、「差別や偏見は人と人を切り、地域と地域を切ってしまう。隣保館はその、切られた関係をつないでいくところ。人と人が繋がり地域と地域が繋がるのが大切です。」と言われました。

このことを防災という視点から考えてみると、普段からあいさつを交わし仲良く助け合いができる関係を築いておくということが、いざという時の大きな力になるということだと思います。



平成29年度男女共同参画週間キャッチフレーズ



男で〇、女で〇、共同作業で〇

(男でまる、女でまる、共同作業でにじゅうまる)

<出張！女性のための働き方セミナー>

## 再就職の際に知っておきたい！ 社会保険や税金・年金の最新情報

9月8日(金)社会保険労務士の西本恭子さんを講師に迎え、社会保険や税金について色々なことを教えていただきました。

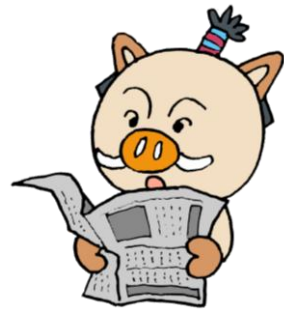
まず、「収入」と「所得」の違いや社会保険や税金などの計算は何を基にするのかを教えてくださいました。

1. 働くときの収入には①住民税 100万円の壁 ②所得税 103万円の壁 ③健康保険 130万円の壁の「三つの壁」があり、最大の壁は③健康保険の壁。4つめの壁として収入だけでなく労働時間・日数にもあるので要注意。

2. ワーク「両立するための壁」については、子育て世代も働きやすい環境へと変わりつつあるので、人生は自分のためにあると考えて、思い切って働けるときに働こう。

3. 再就職の際などに活用できる補助制度を紹介していただきました。「スキルアップ 再就職準備支援補助金」など、このようなセミナーに参加することでいろいろな情報に出会えるので積極的に活用しよう。という三つのテーマを詳しくお話いただきました。

講師の歯切れの良いお話と、分かりやすくポイントを押さえた内容で参加者の皆さんは気持ちよく受講されていたようでした。漠然としか知らなかったことをはっきり分かるように教えていただき、これから仕事を探すのにとっても参考になりましたと、喜んでいただきました。



## 第9期 女性委員会

平成29年度～30年度の任期2年で、女性委員会委員を募集させていただき、今期は7名の委員さんでお世話になることになりました。

女性委員会は、女性問題や市政について調査、研究し意見や提言を行ったり、男女共同参画社会の実現に向けて研修・啓発を行うことを目的に設置されています。委員相互の意見交換を経て今期のテーマを設定し提言や研修につなげていただきます。

8月8日(火)に第1回女性委員会を開催し、市長から委嘱状交付とあいさつ、委員の自己紹介の後、委員長・副委員長を相互選出していただきました。続いて、

事務局より篠山市男女共同参画プランの基本理念と重点目標、これまでの女性委員会からの提言内容等について説明しました。

第2回目以降、女性委員会で協議していくテーマや内容等について委員の皆さまからご意見を頂戴していきます。



日本の6歳未満の子どもを持つ夫の1日当たりの平均家事・育児時間は67分。アメリカやイギリスなど、欧米主要国では150～200分でその差はおおよそ2～3倍。一方日本の妻は461分で夫の約7倍。(男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会報告書より)

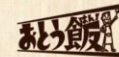
そこで、内閣府男女共同参画局では、

「“おとう飯(はん)”始めよう」キャンペーンを展開しています。これは簡単で手間をかけないレシピの紹介等により、料理に対する男性の抵抗感を弱め、家事・育児等への参画を促がそうとするものです。男性の料理に関する知識やスキルのギャップを埋める一つのきっかけになればいいですね。



### おとう飯の心得

- 、手早く
  - 、簡単に
  - 、リーズナブルな食材で
  - 、家の調味料を使う
  - 、後片付けは最後まで
- おとう飯、  
見守ってね、おかあはん



「食育推進大会」の“おとう飯”レシピ(一例)

【豚ニラもやし】

材料 もやし：1袋 ニラ：1/2束  
しゃぶしゃぶ用豚肉：1パック(10枚くらい)  
市販の胡麻ドレッシング：適量

作り方

1. 耐熱皿に洗って水切りしたもやしを乗せる
  2. その上にニラ(5センチくらいの長さにカット)を置く
  3. さらにその上に豚肉を敷き詰めて
  4. ラップを被せる(端っこの方は開けて)
  5. 電子レンジ600ワットで5分加熱する※
  6. お皿にたまった水分を捨てゴマドレをぶっかけて完成
- ※電子レンジの出力に併せて分数は調節してください。

参照：<http://www.gender.go.jp/public/otouhan/index.htm>



### 講演会のお知らせ

## 差別身元調査をなくすために

～部落差別解消推進法施行をふまえて～

昨年度実施した人権意識調査において、結婚の際の身元調査の是非についての設問を行った結果、「身元調査をいけないこと」と思っている人は、70%と他の設問に比べて低い結果が出ました。身元調査とは、個人の素性や身上関係の情報を収集・調査することを指し、差別、排除を目的としていることが多く、調査自体が人権侵害にあたります。

今回、人権問題、差別問題の現状と課題について幅広く研究されておられる北口末広さんをお迎えして、「身元調査」や「部落差別」について研修します。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 平成29年**10月24日**(火)午後7時30分～9時(予定)

会場 篠山市民センター2階 多目的ホール

演題 「差別身元調査をなくすために

～部落差別解消推進法施行をふまえて～

講師 北口 末広 さん (近畿大学人権問題研究所 主任教授)

主催 篠山市民生活部 人権推進課 (電話：079-552-6926)

※ 手話通訳あります

